レーザー アライメント ゲージ 取 扱 説 明 書

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ず本書の内容をよくお読みになり、理解してからご使用くださいますようお願い申し上げます。本製品は、以下の部品、付属品で構成しています。最初に内容をご確認いただき、不足していたり、製品に不具合がある場合は販売店もしくは弊社までご連絡下さい。

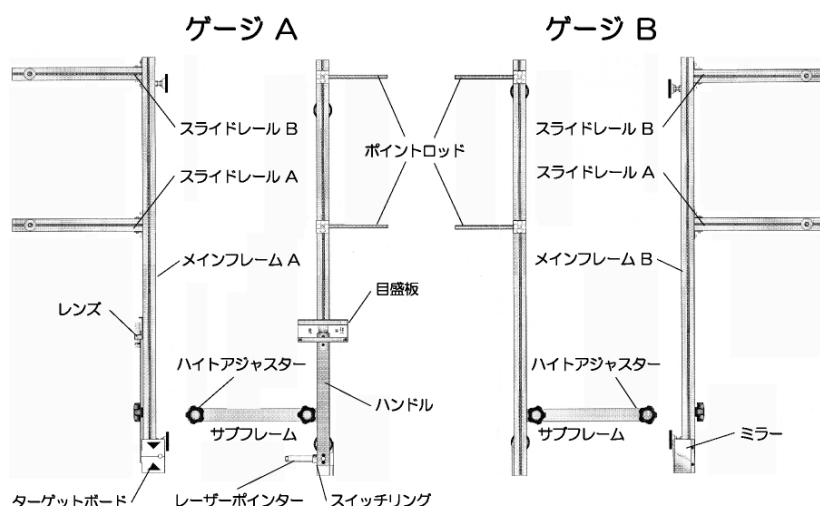
構成部品及び付属品

1．メインフレーム assyA （1set）
2．メインフレーム assyB（1set）
3．スライドレール assy（4set）
4．ポイントロッド（4ヶ）
5．φ22 ワッシャー（4ヶ）
6．M6X10mm キャップボルト（16ヶ）
7．6角レンチ 5mm（1ヶ）
8．6角レンチ 4mm（1ヶ）
9．6角レンチ 2.5mm（1ヶ）
10．取扱説明書（1部）
11．L型アングル（8ヶ）

安全上の警告・注意

⚠警告	※本製品を使用し、作業を実施する際は自動車専用リフトを使用し、車両を確実に固定した状態で行ってください。車両が不安定な状態で作業を行うと、車両の落下等による破損や人体に重大な障害を及ぼす事故の原因となる可能性があります。 ※専用のリフトが無い場合は、必ずリジットラックなどを使用し、車両を確実に固定した状態で作業を行ってください。ガレージジャッキや車載ジャッキのみでの作業は絶対に行わないでください。車両の落下等による破損や人体に重大な障害を及ぼす事故の原因となる可能性があります。 ※アライメントの調整を行う際は、専門の教育を受けた整備士が各車両の整備書を参照し、設備の整った場所で行ってください。著しいアライメントの狂いは、重大な事故につながる恐れがあります。 ※調整時に緩めたボルトやナットは、必ず規定のトルクで締めてください。走行中に緩んだ場合、重大な事故につながる恐れがあります。
⚠注意	※本製品を落としたり、強い衝撃を与えると正しく測定できなくなる場合があります。お取扱いには十分に注意してください。 ※誤った取扱いや、不適切なアライメント調整によって発生した事故や損害については、弊社では一切責任を負いませんので予めご了承ください。

※ 本製品はあくまで測定機器です。アライメントの調整は、作業者の責任において各車両の整備書を参考に行ってください。
※ アライメントを変更すると車両の運転特性が大きく変化します。調整後の運転は十分に注意してください。

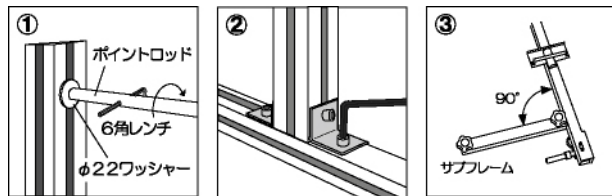
各部の名称

レーザーポインター
スイッチを押すとレーザー光を発光。

スイッチリング
レーザーポインターのプッシュスイッチを押した状態で固定できます。

スライドレール A、B
M6キャップボルトを緩めてフレームをスライドさせ、ホイールのサイズに合わせてポイントロッドの間隔を調整します。

ポイントロッド
ホイールのリムにあて、ホイールとゲージを平行にします。

ハイトアジャスター：フレーム全体の角度が変わり、レーザー光線の発射角度を変更することができます。
目盛板：固定している＋ねじを緩めると、目盛板を動かすことができ、「0点」を調整できます。

ゲージの組み立て

①ポイントロッドの取り付け
スライドレールに、付属のφ22ワッシャー挟み込みポイントロッドを取り付けます。付属の6角レンチ（2.5mm）を使用して締め付けます。

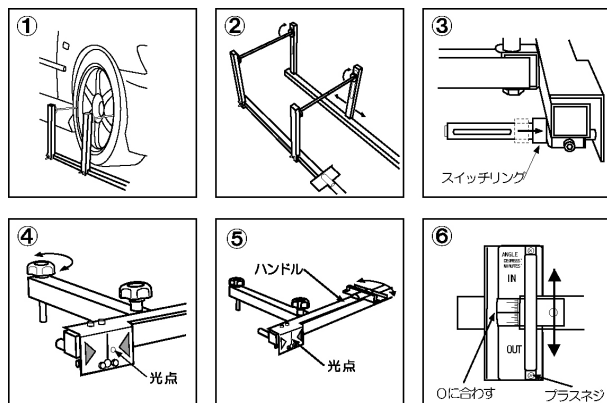
②スライドレールの取り付け
ポイントロッドを付けたスライドレール（4本）のL型アングル部分を、M6キャップボルトを使用してメインフレームに固定します。

③サブフレームを開く
サブフレームの角度をフレームに対し、約90°の位置で固定します。

測定の手順

①測定の前に・・・

※車両を水平で凹凸の無い場所に置き、ホイールナットが規定のトルクで締められていることを確認し、タイヤ空気圧を適正値に調整します。
※ステアリングホイールをセンターに合わせ、左右差（左右輪のセンターのズレ）がないことを確認します。左右差がある場合は、各車両の調整方法で差がなくなるように調整してください。（④ 参考）

②0点の調整

①ゲージをホイールに合わせる
ゲージAを測定輪に合わせ、ポイントロッドがホイールの中心に来るようにポイントロッドとスライドレールを動かし調整します。
（前輪を測定する場合は右前輪、後輪の場合は左後輪で行ってください。）

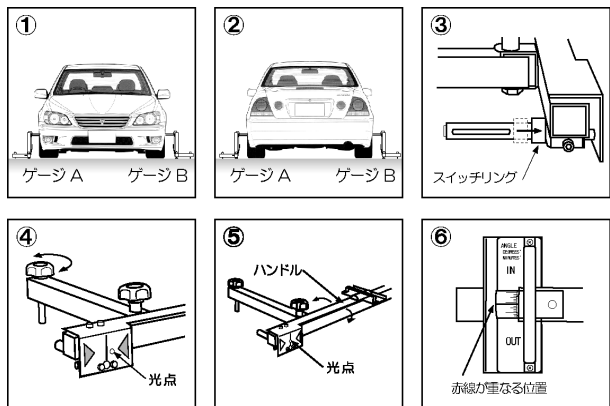
②ゲージBのセッティング
ゲージAとBを向かい合わせて置き、ゲージBのポイントロッドの先端が、ゲージAのポイントロッドの先端とピッタリ合うようにゲージBを調整します。

③レーザーを照射する
スイッチリングをレーザーポインターのスイッチを押えることができる位置に移動し、レーザーを照射します。

④レーザーの反射角度を調整する
ゲージA、Bのハイトアジャスターを回してミラーに反射したレーザーの光点がターゲットボードの中程に来るように調整します。

⑤測定する
レーザー光の中心をターゲットボードの中心線上に当たるようにハンドルを動かします。

⑥「0点」をあわせる。
レンズを真上から覗き、上下の赤線が重なる位置で目盛を読み、値が「0」でない場合は目盛板を固定している＋ネジを緩め、目盛板をずらして「0」になるように調整します。

③トーインの測定

①ゲージをセットする（フロント測定時）
ゲージA、Bを測定輪のリムにポイントロッドがぴったりと合うようにセッティングします。

②ゲージをセットする（リア測定時）
フロントと同様にゲージA、Bをホイールにセットします。

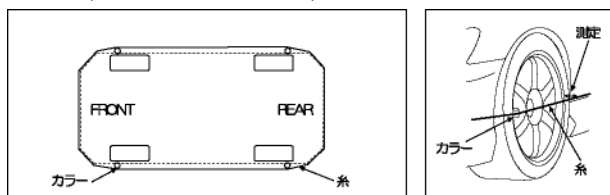
③レーザーを照射する
スイッチリングをレーザーポインターのスイッチを押えることができる位置に移動し、レーザーを照射します。

④レーザーの反射角度を調整する
ゲージA、Bのハイトアジャスターを回してミラーに反射したレーザーの光点がターゲットボードの中程に来るように調整します。

⑤測定する
レーザー光の中心（いちばん明るい部分）をターゲットボードの中心線上に当たるようにハンドルを動かします。

⑥測定値を読み取る
レンズを真上から覗き、上下の赤線が重なる位置で目盛を読みます。
（リア側の測定値は、INとOUTが逆転した値となります。測定値がOUT１０′を示している場合は、IN１０′になります。）

④参考（左右差の測定方法）

①ステアリングホイールをセンターにあわせます。
②ホイールの中心を通る高さで糸を張り、車体を一周させ、リムとタイヤの境目に乗るようにカラーをはさみます。
カラーはフロントはホイールの前側、リアはホイールの後ろ側にはさみます。
③糸とリムの間隔を測定します。測定は、フロントはホイールの後側、リアはホイールの前側で行います。
④左右の測定値が違う場合は、左右差が無くなるように、各車両の整備書を参考に調整してください。

※ カラーはアルミやプラスチックパイプを切断したものや、フィルムケースのようなもので作れますが、４つ共すべて同じ外径のものを使用してください。
※ カラーを挟んだ時に、前後のカラー間で糸がボディーに触れない大きさのものを選んでください。

ご不明な点等がございましたら、販売店もしくは弊社までお問い合わせ下さい。

㈲グローバルテイキングオフィス
〒224-0003横浜市都筑区中川中央1-2-4
TEL045-912-7892 FAX045-914-3951